Golf Touran
クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください

Golf Touran に関する資料

本 書

クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。
ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

本書内に記載されている一部の機能は、動画で機能の説明を確認することができます。
YouTube の Volkswagen Group Japan 公式チャンネルにアクセスしてご覧ください。
動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。

取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。
本書と合わせて必ずお読みください。

Golf Touran
クイックユーザーガイド

目　次

運転の前に

運　転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観 …… 4
内装 …… 8

1. 運転の前に 14

運転準備 …… 14
リモコンキー …… 14
スマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access” …… 15
シートの調整 …… 16
ステアリングホイールの調整 …… 21
ミラーの調整 …… 22
パワーウインドー …… 24
チャイルドシート …… 25
エアバッグ …… 26
ルームランプ、リーディングランプ …… 27

2. 運 転 28

運転する …… 28
コンビネーションメーター …… 28
警告灯および表示灯 …… 30
マルチファンクションインジケーター …… 32
エンジンの始動・停止 …… 36
シフト操作 …… 37
パーキングブレーキ …… 39
Start/Stop システム …… 40
ライト …… 41
方向指示器 …… 43
ウインドーワイパー、ウォッシャー …… 44
燃料の給油 …… 45
AdBlue® …… 49
ディーゼルパーティキュレートフィルター（DPF） …… 51

3. 便利な機能 52

運転支援 …… 52
インフォテイメントシステム …… 52
ドライビングプロファイル …… 56
アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC” …… 58
レーンキープアシストシステム“Lane Assist” …… 62
渋滞時追従支援システム“Traffic Assist” …… 64
レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus” …… 65
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能） …… 66
ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System” …… 68
プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”
（歩行者検知対応シティエマージェンシー機能付） …… 70
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール） …… 72
プロアクティブ・オキュパント・プロテクション …… 73
タイヤモニタリングシステム …… 74
パークディスタンスコントロール …… 75
リヤビューカメラ“Rear Assist” …… 77
駐車支援システム“Park Assist” …… 78

外観

ドアミラー　**22** ページ

フューエルリッド　**45** ページ

ドア
- パワーウインドー　**24** ページ
- スマートエントリー＆スタートシステム “Keyless Access”　**15** ページ

フロントフォグランプ　**42** ページ

ヘッドライト　**41** ページ

フロントウインドー
- フロントウインドーワイパー　**44** ページ
- アシストシステム用カメラ　**62** ページ

レーダーセンサー
- アダプティブクルーズコントロールシステム “ACC”　**58** ページ
- プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist”　**70** ページ

パークディスタンスコントロール用センサー　**75** ページ

目次

リヤウインドー
リヤウインドーワイパー　**44** ページ

テールライト　**41** ページ

リヤビューカメラ“Rear Assist”
77 ページ

パークディスタンスコントロール用センサー　**75** ページ

内装

助手席エアバッグカットオフスイッチ表示灯　**26** ページ

インフォテイメントシステム　**52** ページ

レバー
- ヘッドライト　**41** ページ
- 方向指示器　**43** ページ
- ドライバーアシストシステム用ボタン　**33** ページ

パドルシフト **38** ページ

ディスプレイ　**28** ページ

ライトスイッチ　**41** ページ

ステアリングホイール調整用レバー　**21** ページ

マルチファンクションステアリングホイール
- マルチファンクションインジケーター　**32** ページ
- アダプティブクルーズコントロール システム “ACC”　**58** ページ

セレクターレバー　**37** ページ

- ドライビングプロファイル機能ボタン　**56** ページ
- Start / Stop システムボタン　**40** ページ
- パークディスタンスコントロールボタン　**75** ページ
- Park Assist ボタン　**78** ページ

レバー
- ウインドーワイパーウォッシャー　**44** ページ
- マルチファンクションインジケーター　**32** ページ

目次

ドアミラー用回転式ノブ　**22** ページ

パワーウインドースイッチ　**24** ページ

目次

オートホールドボタン　**39** ページ

エレクトロニックパーキングブレーキボタン
39 ページ

目次

フロントシート
・マニュアルシート　**16** ページ

2 列目シート
・2 列目シート
16 ページ
・ISOFIX チャイルドシート
25 ページ

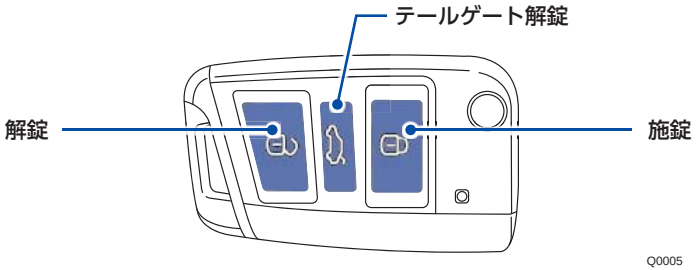
3 列目シート
・3 列目シート
18 ページ
・ISOFIX チャイルドシート
25 ページ

運転の前に

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。

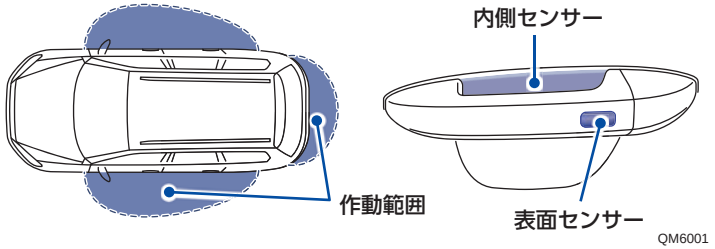


- 施錠ボタン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
- 解錠ボタン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
- テールゲート解錠ボタン‥ テールゲートのみ解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



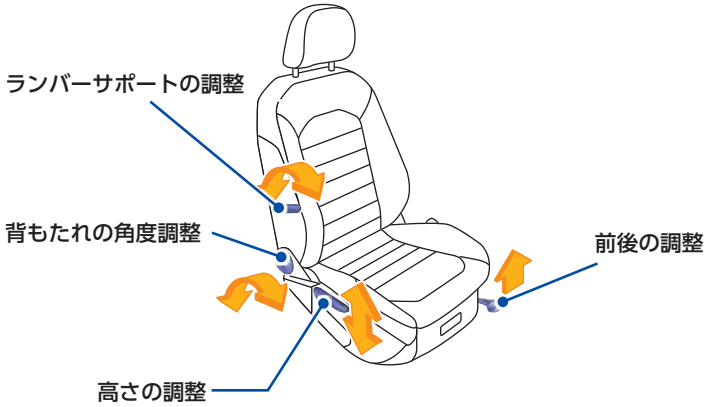
- 表面センサー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。
キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が 4 回点滅し、ドアを施錠できません。

シートの調整

フロントシートの調整

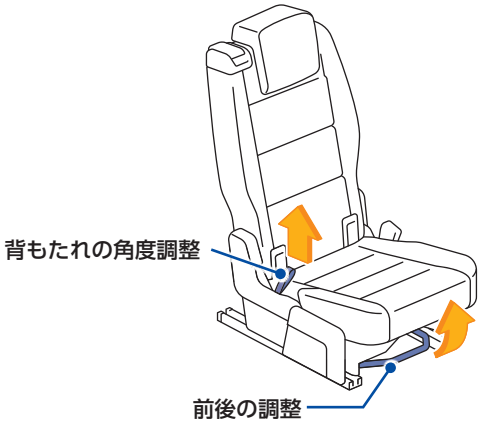
シートの高さ、前後、背もたれの角度、ランバーサポートを調整することができます。



Q0086

2 列目シートの調整

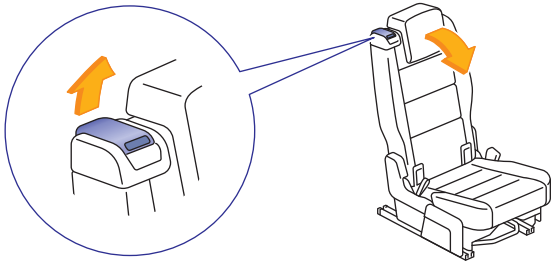
シートの前後および背もたれの角度を調整することができます。



QM6005

イージーエントリー

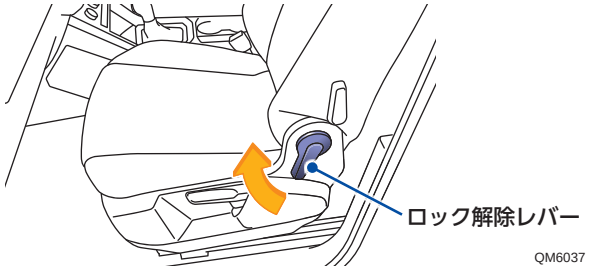
3 列目シートへの乗車および降車がスムーズにできます。
2 列目シート上部のレバーを引き、シートを前方に倒してください。
シートを戻す場合は、上部のレバーを引き、ロックするまで後方に動かしてください。



QM6006

助手席シートの背もたれを倒す

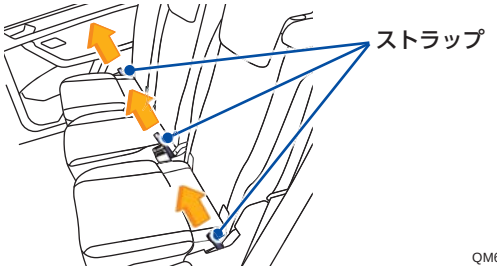
助手席シートの背もたれを倒すことにより、長さのある荷物を積み込むことができます。
ロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒します。



QM6037

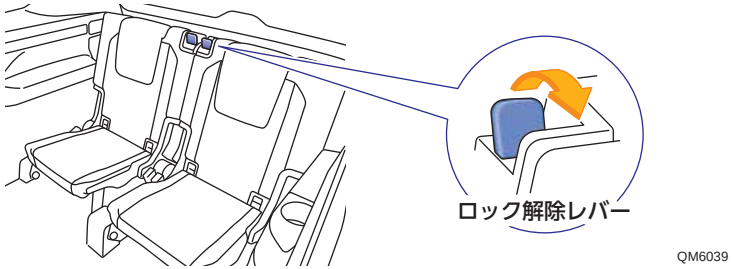
2 列目シートの背もたれを倒す

分割可倒式 2 列目シートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。
シートの横にあるストラップを引き、背もたれを前方に倒します。



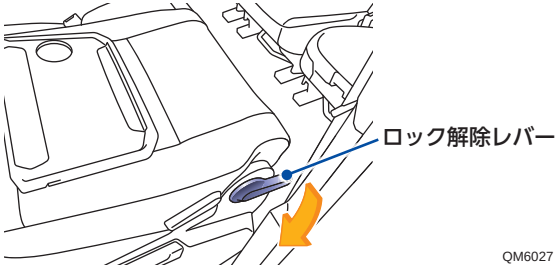
3 列目シートの背もたれを倒す

3 列目シートを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。
背もたれの上部にあるロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒します。



助手席シートの背もたれを戻す

助手席シートの背もたれを戻すときは、ロック解除レバーを下に押し、背もたれを起こします。

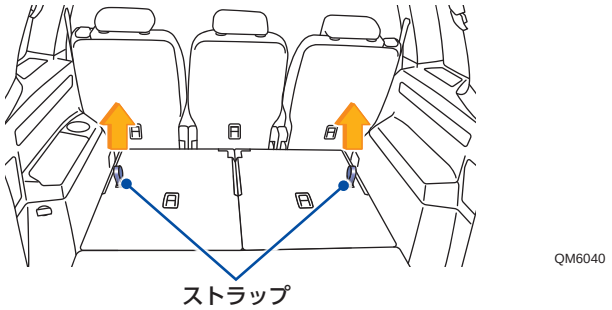


2 列目シートの背もたれを戻す

2 列目シートの背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。

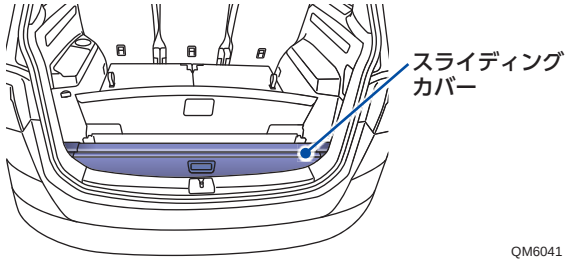
3 列目シートの背もたれを戻す

3 列目シートの背もたれを戻すときは、ストラップを引いて背もたれを起こし、ロックされるまで後方に引いてください。



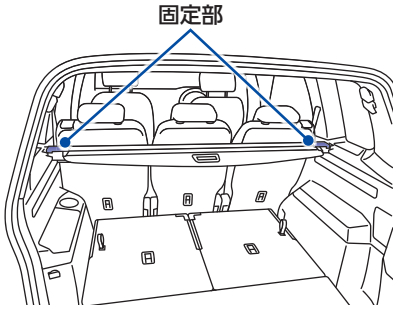
スライディングカバー

スライディングカバーは、ラゲージルームフロアパネルの下に収納されています。



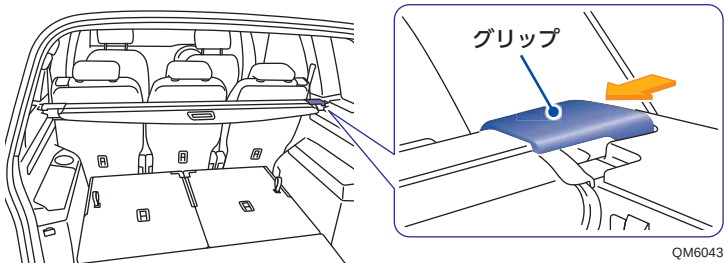
QM6041

スライディングカバーを取り付ける場合は、サイドトリムの固定部からカバーを取り外し、スライディングカバーを取り付けてロックします。



QM6042

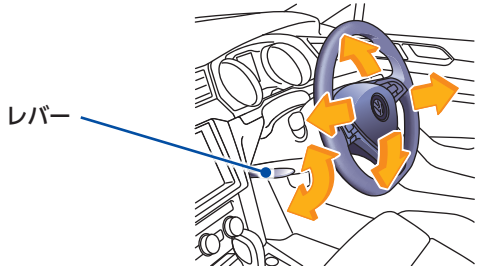
スライディングカバーを取り外す場合は、グリップを内側に押して、スライディングカバーを上へ取り外します。



QM6043

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



QM8014

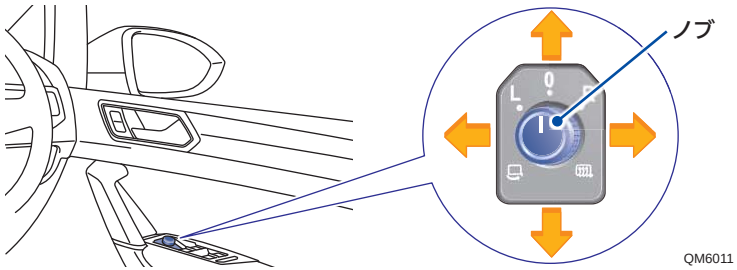
操作手順

1. レバーを下げます。
2. ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
3. 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。



操作手順

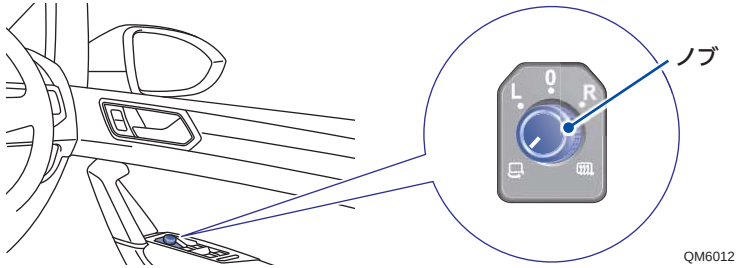
1. ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
2. ノブを前後、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
3. ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

アドバイス

運転席側を調整すると、助手席側も同時に調整されます。助手席側を調整する場合は、先に運転席側を調整してください。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーの格納

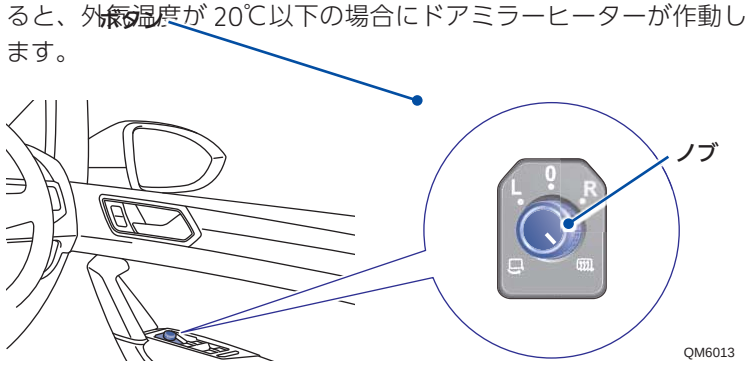
運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。



車両をリモコンキー、またはスマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、外気温度が 20℃以下の場合にドアミラーヒーターが作動します。

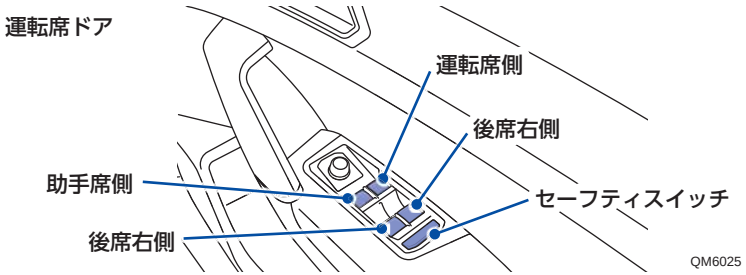


アドバイス

ドアミラーヒーターを使用しないときは、スイッチを“0”（OFF）にしてください。

パワーウインドー

各ドアにあるパワーウインドースイッチで、ウインドーの開閉を操作します。



セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウインドーは作動しなくなります。

アドバイス

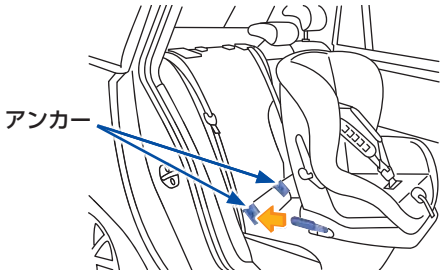
リモコンキーを使って車外から全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。
全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が 1 回点滅します。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

チャイルドシート

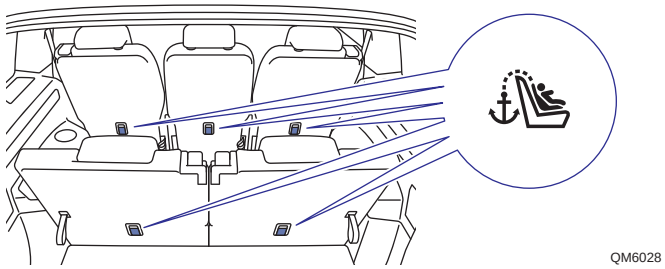
チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。
ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。

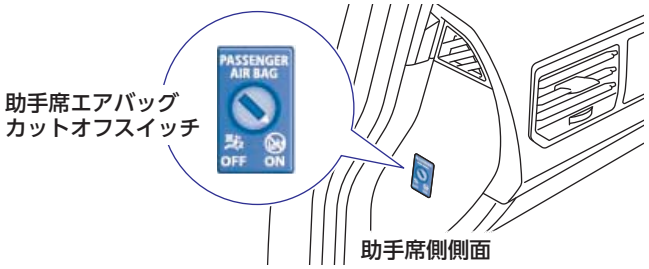


エアバッグ

運転席側フロント、運転席足元、助手席側フロント、前席サイド、後席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

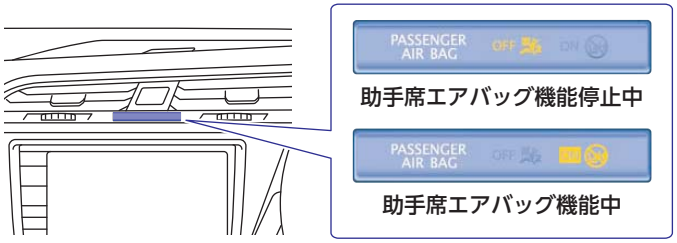
助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。
助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。



QM6029

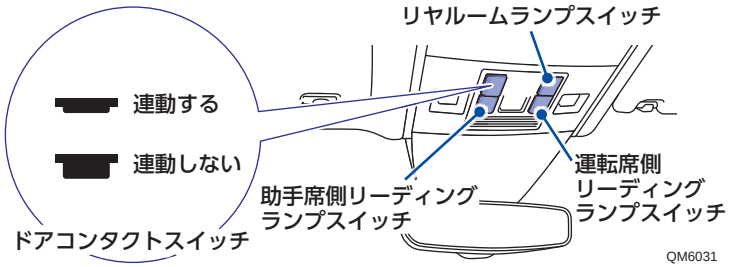
助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が切り替わります。



QM8020

ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。
ドアコンタクトスイッチにより、ドアの開閉に連動して自動的に点灯 / 消灯させることができます。



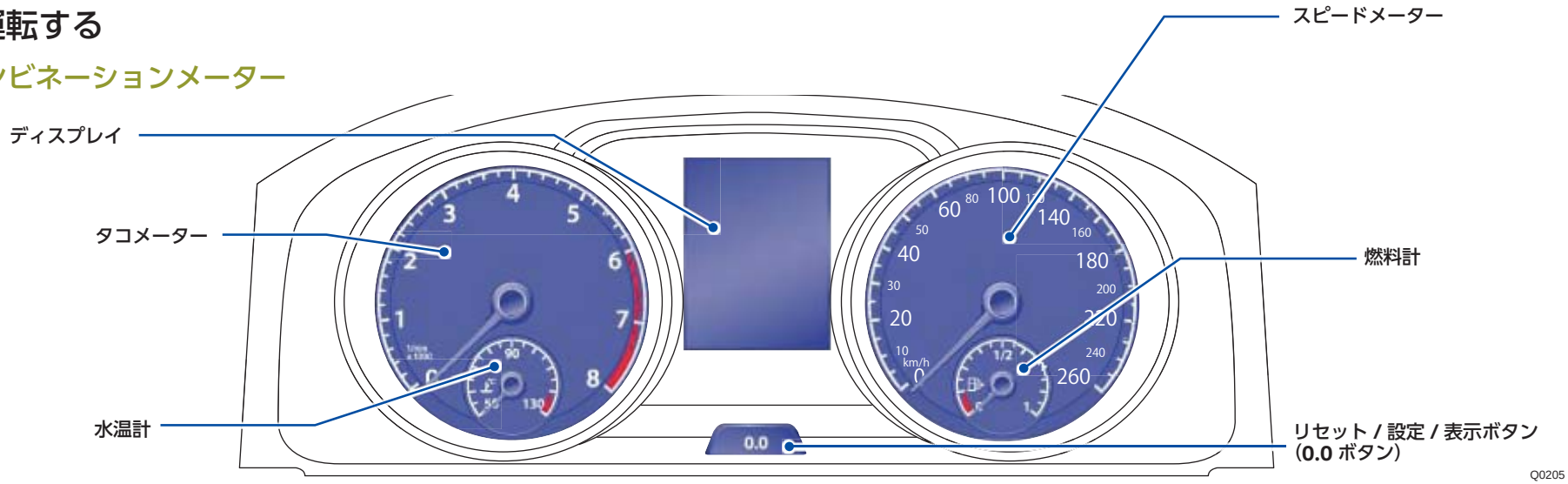
QM6031

運転席 / 助手席側リーディングランプおよびリヤルームランプは、それぞれ独立して点灯します。

運 転

運転する

コンビネーションメーター



時計の設定方法

操作手順

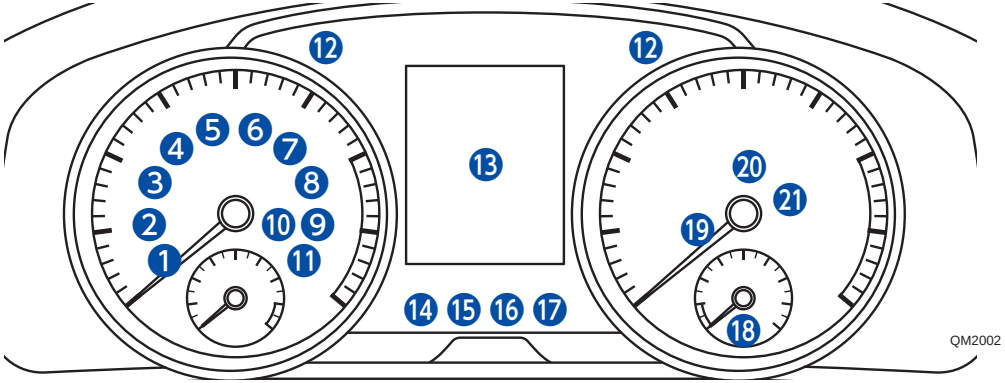
1. すべてのドアを閉めます。
2. ディスプレイに「時間」と表示されるまで **0.0** ボタンを押し続けます。
3. 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合は **0.0** ボタンを押して正しい時を設定してください。
4. 分表示がハイライトされるまで待ちます。分を変更する場合は **0.0** ボタンを押して正しい分を設定してください。
5. **0.0** ボタンから手を離したまま待つと、ハイライト表示が終了し設定が完了します。

時計はインフォテイメントシステムでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。
0.0 ボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯

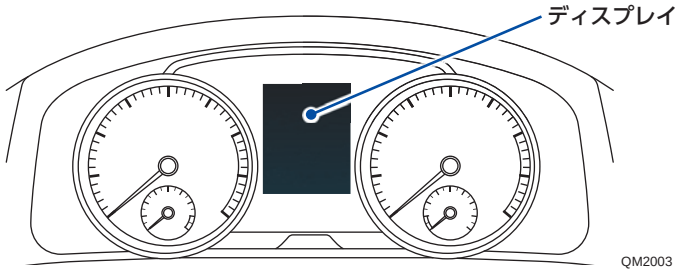


位置	シンボル	意味
1		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
2		前席シートベルト非着用
3		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
4		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
4		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
5	EPC	エンジン制御システム故障
6		点灯：排気ガス浄化システム故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
7		点灯：ESC 故障、バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
8	ABS	ABS 故障
9		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
10	OFF	ASR OFF
11		ハイビーム点灯
12		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
13		冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		エンジンオイル油圧低下
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		充電系統故障
13		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
13		ライトのバルブ切れ

位置	シンボル	意味
13		エンジン回転数制限
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		点灯：エンジンオイル量少 点滅：エンジンオイルシステム故障
13		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動停止
13		プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		トランスミッション故障
13		アダプティブシャシーコントロール（DCC）故障
13		後席シートベルト非着用
13		後席シートベルト着用
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車未検知
13		白色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）非作動
13		サービスリマインダー、点検時期
13		外気温度 4℃以下
13	A	Start/Stop システム エンジン自動停止中
13		Start/Stop システム エンジン作動中、自動停止不可、自動再始動不可
13	eco	低燃費走行状態
13		取扱説明書を確認してください
14	P	エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
14	P	オートホールド作動中
15		ディスプレイの表示を確認してください
15		ディスプレイの表示を確認してください
16		点灯：クルーズコントロールシステム（CCS）/ スピードリミッター ON、 アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
17		レーンキープアシストシステム待機
17		レーンキープアシストシステム作動中
18		燃料残量少
19		ブレーキパッド摩耗
20		リヤフォグランプ点灯
21		ブレーキペダルを踏んでください
21		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

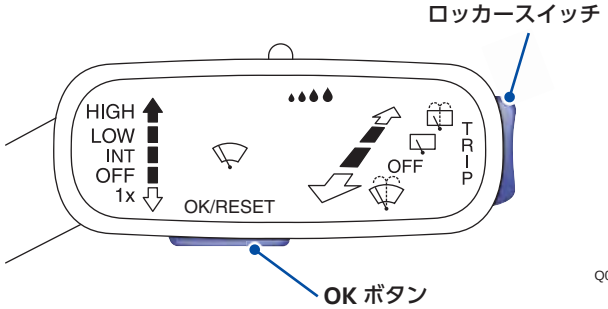
マルチファンクションインジケーター

コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。



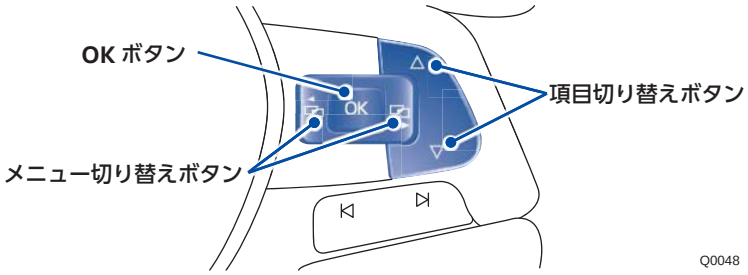
レバーでの操作

ディスプレイの表示は、ステアリングホイール右側のレバーについているロッカースイッチの上下および OK ボタンで操作します。



マルチファンクションステアリングホイールでの操作

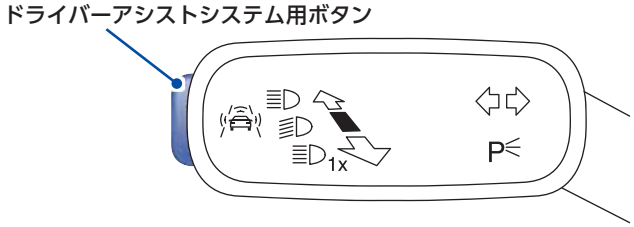
ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



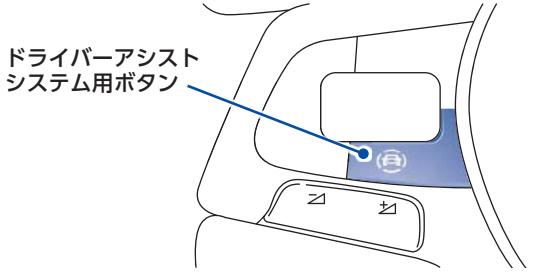
ドライバーアシストシステム用ボタン

ステアリングホイール左側の方向指示器レバーについているボタン、またはマルチファンクションステアリングホイール左側のボタンでアシストシステムのメニューを呼び出すことができます。

方向指示器レバー



マルチファンクションステアリングホイール



メニューと表示項目

メニュー	項　目
走行データ (マルチファンクションインジケーター)	**消費量** 現在の燃料消費率を表示します。
	Φ - 燃費 ※ 平均燃費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 300m 走行後に表示されます。
	走行可能距離 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	快適装備 燃料消費量に影響を及ぼしている、現在使用中の装備を表示します。
	走行時間 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。
	走行距離 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	Φ - 速度 ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	車速 現在の車速を表示します。
	警告速度 警告速度の設定をすることができます。
	油温 エンジンオイル温度を表示します。
	AdBlue の走行可能距離 ※※ 残りの AdBlue で走行可能な距離を表示します。
アシストシステム	以下の ON/OFF を切り替えることができます。 ・レーンキープアシストシステム（Lane Assist） ・プリクラッシュブレーキシステム（Front Assist）
	ACC および Lane Assist の作動状態を表示します。
ナビゲーション	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
オーディオ	
電話	
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

※：以下の 3 種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

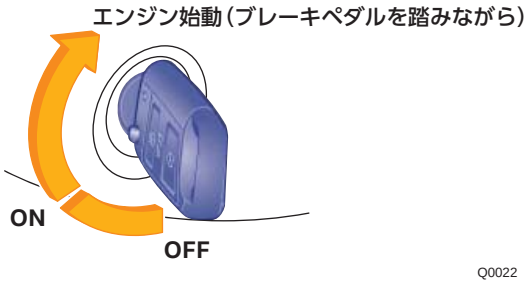
- スタート後 ‥ イグニッションスイッチを ON にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約 2 時間経過するとリセットされます。
- 給油後 ‥‥‥ 前回給油以降のデータを表示します。給油するとリセットされます。
- 長期間 ‥‥‥ 長期間のデータを表示します。積算での走行時間が 20 時間、もしくは 100 時間、または走行距離が 2,000km、もしくは 10,000km に達する毎にリセットされます。（仕様によって異なります）

※※：ディーゼル車のみ表示されます。

エンジンの始動・停止

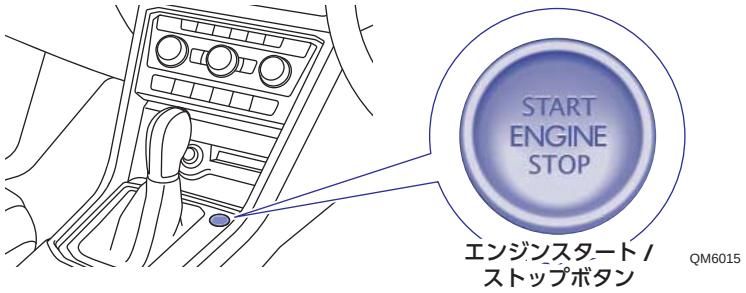
イグニッションスイッチ

ステアリングコラム右側のイグニッションスイッチでエンジンを始動・停止します。



エンジンスタート / ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート / ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。

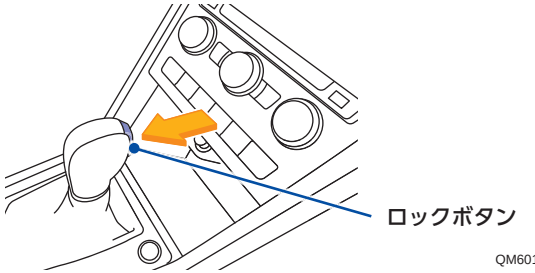


目　的	操　作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート / ストップボタンを短く押します。
エンジン停止	エンジンスタート / ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート / ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。

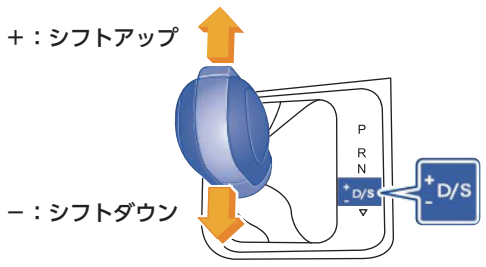


“D”と“S”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/S	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム S：スポーツプログラム
▽	“D”と“S”を切り替えるとき
＋ －	ティプトロニック（マニュアルモード）

ティプトロニック（マニュアルモード）

セレクターレバーを“D/S”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“＋”（前方に押す）でシフトアップ、“－”（後方に引く）でシフトダウンします。

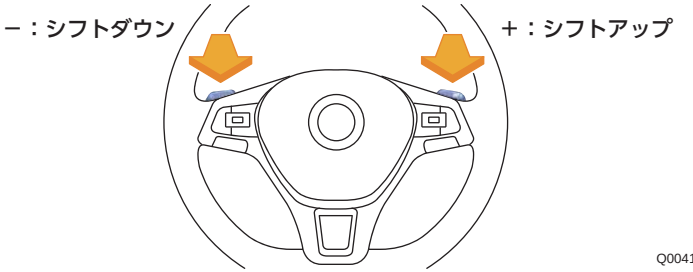


Q0040

オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。
右側のパドルレバー“＋”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“－”を手前に引くとシフトダウンします。



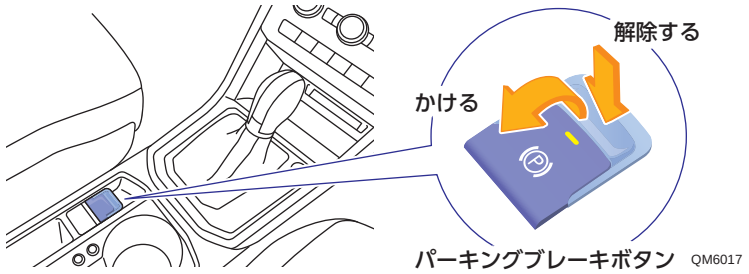
Q0041

セレクターレバーが“D/S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。
オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“＋”を約１秒間、手前に引いてください。

パーキングブレーキ

エレクトロニックパーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけるには、ボタンを引きます。
パーキングブレーキを解除するには、イグニッションを ON にしたあと、ブレーキペダルを踏みながらボタンを押します。
また、アクセルペダルを踏んで車両を発進させた場合も、パーキングブレーキは自動的に解除されます。

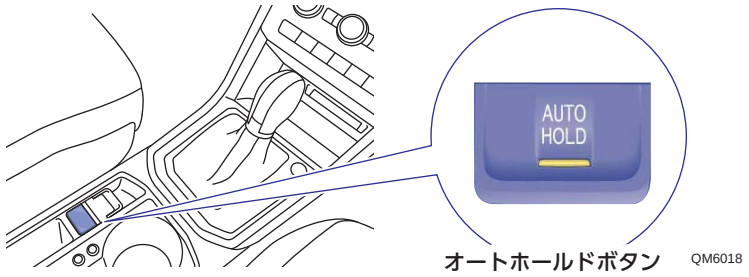


QM6017

車両が動き出す可能性がある状態で運転席ドアを開けた時など、システムが不適切な駐車状態と判断した場合、パーキングブレーキが自動的に作動します。

オートホールド

オートホールドを ON にすると、停車後にブレーキペダルを放した時にパーキングブレーキが自動的に作動し、車両を停止状態で保持することができます。



QM6018

Start/Stop システム

アイドリングストップ技術により無駄な燃料の消費を抑えるシステム。車両を停止させる際にブレーキペダルを踏みつづけると、車両停止直前または停止完了時にエンジンが停止。発進の際はブレーキペダルから足を離せばスムーズに再始動します。
エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

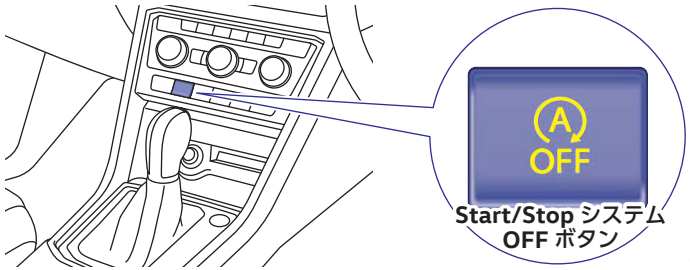
・・・・エンジン自動停止中

・・・・エンジン作動中、自動停止不可、または自動停止中で自動再始動できない

自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”に戻してから手動でエンジンを始動してください。
自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の「スタートアシストシステム」を参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

Start/Stop システムの機能を停止する場合は、センターコンソールの Start/Stop システム OFF ボタンを押します。
OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。

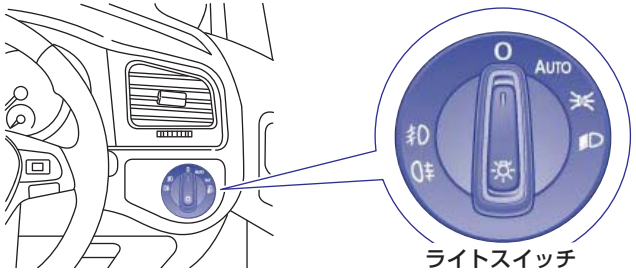


QM6019

ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



Q0023

・・・・ヘッドライト消灯

・・・・周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯

・・・・スモールライト点灯

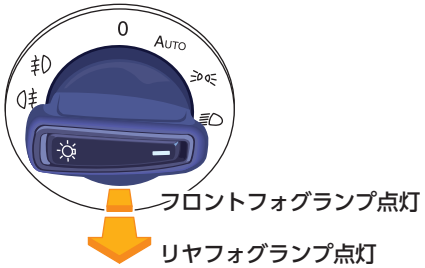
・・・・ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーを前方に押すとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。(パッシング)

Q0024

フォグランプ

ライトスイッチが AUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプが点灯します。



手前に 1 段階目 ····· フロントフォグランプ点灯
手前に 2 段階目 ····· リヤフォグランプ点灯

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が 3 回点滅します。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。

Q0030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。
調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。
レインセンサーは、インフォテイメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。

Q0031

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

燃料の給油

ガソリン車

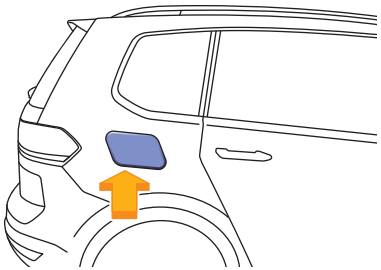
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。
- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクタレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作手順

1. **キー、またはセンターロッキングスイッチで車両を解錠します。**

2. **フューエルリッドを開きます。**

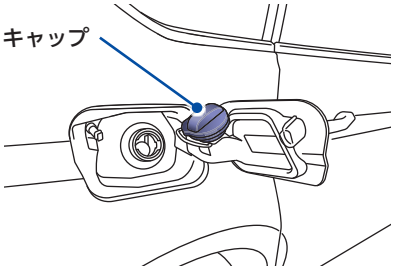
   フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
   フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



QM6021

3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドのヒンジ部に掛けます。



QM6022

4 給油します。

使用燃料 ····· 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

6 フューエルリッドを閉めます。

ディーゼル車

給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

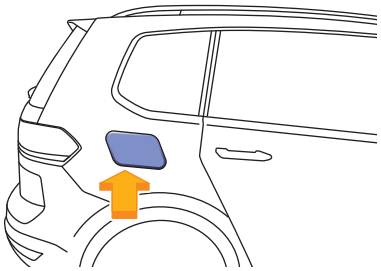
- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクタレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作手順

1 キー、またはセンターロッキングスイッチで車両を解錠します。

2 フューエルリッドを開きます。

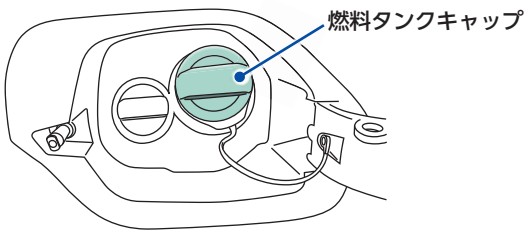
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



QM6021

3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドのヒンジ部に掛けます。



4 給油します。

使用燃料 ･････････ ディーゼル燃料（軽油）

5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

6 フューエルリッドを閉めます。

給油に関する注意：
給油する際、燃料の種類に注意してください。
燃料を間違えて給油してしまった場合は、走行せずに直ちにフォルクスワーゲン正規販売店へ連絡してください。

アドバイス

ディーゼル燃料は外気温が低くなると凍結し、エンジンの故障につながる恐れがあります。
ディーゼル燃料は、その地域の気温に適した燃料が存在しますので、寒冷地へ移動したときは、到着後できるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

AdBlue®

TDI 車両は、一定の走行距離を目安に AdBlue®（尿素水溶液）の補充が必要となります。
AdBlue® の走行可能距離は、コンビネーションメーターで必ず確認してください。
「走行データ」→「AdBlue の走行可能距離」

AdBlue® が無くなると、車両の走行ができなくなります。

AdBlue® の残量が低下すると警告音とともにコンビネーションメーターに警告表示されます。

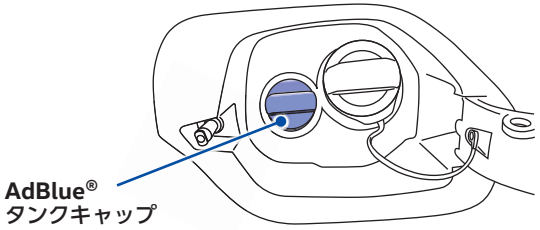
警告表示	意　味
	AdBlue® の残量が低下（AdBlue® 残量による走行可能距離が、2,400km 以下） 早めの AdBlue® を補充することをお勧めします。
	AdBlue® の残量がさらに低下 コンビネーションメーターに表示された AdBlue® の走行可能距離以内に必ず補充してください。
	AdBlue® の残量がゼロ 一度エンジンを切ると、再始動することができません。 エンジンを再始動するためには、AdBlue® を補充してください。

アドバイス

AdBlue® 残量による走行可能距離が 1,000km になる前に十分な量の AdBlue® を補充してください。

AdBlue® の補充

AdBlue® は、キャップ（青色）を開いて補充します。



QM8110

ディーゼルパーティキュレートフィルター（DPF）

ディーゼルパーティキュレートフィルター（DPF）は排ガス中のPM（微粒子物質）を処理します。
DPF で吸着された PM はエンジン制御により定期的に除去されます。
ただし、街乗りなど短距離走行のみの走行の場合、DPF の掃除が完了せず、PM が徐々に堆積しコンビネーションメーターに以下の警告灯が点灯されます。

警告表示	意　味
	DPF に PM が堆積しています。 法定速度を遵守し、一定時間走行しエンジン制御による DPF の掃除をサポートしてください。DPF の掃除が完了すると警告灯は消灯します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

便利な機能

運転支援

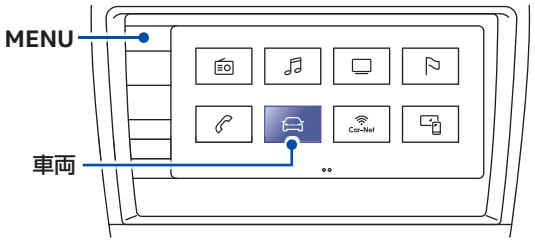
インフォテイメントシステム

車両設定

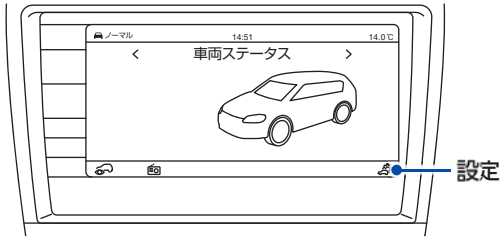
タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。



QM8010



QM8007

車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESC システム	—	• 以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。 - トラクションコントロールシステム（ASR） - エレクトロニックスタビリティコントロール（ESC）
タイヤ	タイヤ空気圧警告灯	• タイヤモニタリングシステムのリセット操作ができます。
	ウインタータイヤ	• 速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
ドライバーアシスト	ACC（アダプティブクルーズコントロール）	• 前回選択した設定の適用の ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能を設定することができます。 - 車間距離レベル
	Front Assist（プリクラッシュブレーキシステム）	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist” - 接近警報 - 車間距離警告の表示
	Lane Assist	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - レーンキープアシスト“Lane Assist” - アダプティブレーンガイド
	Side Assist	• レーンチェンジアシストシステム“Side Assist Plus”の ON・OFF を切り替えることができます。 • 警告灯の明るさを調整することができます。
	歩行者検知	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 歩行者検知システム - 警告
	疲労検知システム	ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の ON・OFF を切り替えることができます。
	プロアクティブ・オキュパント・プロテクション	プロアクティブオキュパントプロテクションの ON・OFF を切り替えることができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
Park Assist	パーク ディスタンス コントロール	• パークディスタンスコントロールの自動作動の ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能を設定することができます。 - フロント / リヤの音量 - フロント / リヤのトーンレベル - パークディスタンスコントロール作動時のインフォテイメントシステムの音量
	リヤトラフィック アラート	• リヤトラフィックアラートの ON・OFF を切り替えることができます。
ライト	オートライト アシスト	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ダイナミックコーナリングライト - オートマチックドライビングライト（降雨時） - 車線変更点滅機能 • 以下の機能を設定することができます。 - オートマチックドライビングライトコントロールの始動時間 - トラベルモード（右側 / 左側通行）
	ルームランプ	• 以下の機能を設定することができます。 - メーター / スイッチの明るさ
	「カミングホーム / リービングホーム」機能	• 以下の機能を設定することができます。 - カミングホーム機能の作動時間 - リービングホーム機能の作動時間
ミラーおよび ワイパー	ミラー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ドアミラーの同期調整 - ドアミラーの後退時位置設定 - 駐車時の格納
	ワイパー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 自動ワイパー（降雨時） - 後退時のリヤウインドーワイパー作動
開閉	ウインドー操作	• ウインドーコンビニエンスオープンの設定をすることができます。
	集中ドアロック	• ドア解錠の設定をすることができます。 • 以下の ON・OFF を切り替えることができます。 - 自動施錠 - イージーオープン
コンビネーション メーター	—	• マルチファンクションインジケーターに表示させる項目を選択することができます。
日付と時刻	—	• 時刻や日付などの設定をすることができます。
単位	—	• 距離や車速などの単位を設定することができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
サービス	—	• 以下のデータが表示されます。 - 車体番号 - 次回の点検整備の時期 - 次回のエンジンオイル交換の時期
工場出荷時 設定	—	• 以下の設定をリセットすることができます。 - すべての設定 - ドライバーアシスト - 駐車支援 - ライト - ミラーおよびワイパー - 開閉 - マルチファンクションインジケーター（走行データ）

ドライビングプロファイル

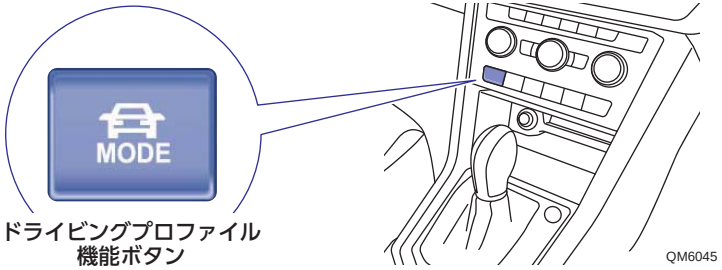
ドライビングプロファイルとは

各モードごとにエンジンやトランスミッションなどの設定を最適化することで、走行状況などに応じてドライバーのお好みの運転特性を選択することができます。

ドライビングプロファイルの切り替えかた

ドライビングプロファイル機能ボタンを押すごとに、ドライビングプロファイルが切り替わります。
インフォテイメントシステムのディスプレイに選択中のドライビングプロファイルが表示されます。
以下の 5 つのドライビングプロファイルが選択できます。
選択できるドライビングプロファイルの種類は車種により異なります。

- コンフォート
- ノーマル
- スポーツ
- エコ
- カスタム



コンフォート

乗り心地を重視した特性になります。おもに路面状況が荒れているときや、高速道路を長時間走行するときなどに選択します。

ノーマル

標準的な特性になるため、通常走行時に選択します。

スポーツ

走行性能を重視した特性になるため、スポーツ走行などをするときに選択します。

エコ

燃費を重視した特性になるため、低燃費運転をしたいときに選択します。

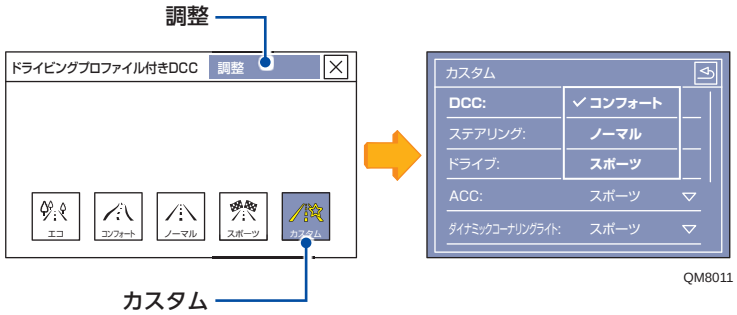
カスタム

各システムをお好みの特性に設定することができます。

ドライビングプロファイル「カスタム」の設定のしかた

操作手順

1. ドライビングプロファイル機能ボタンを押します。
2. ディスプレイの「カスタム」を選択します。
3. 「調整」を選択します。
4. システムごとの特性を選択します。



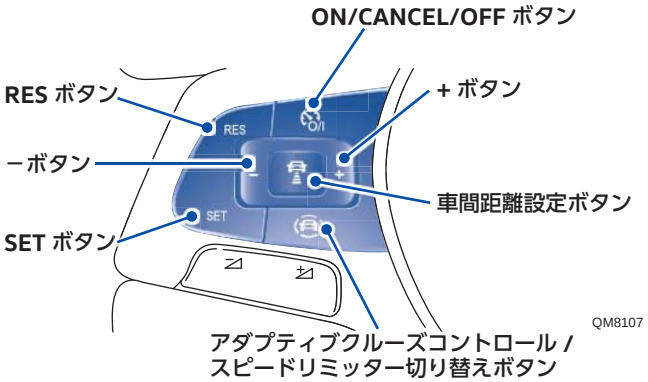
アドバイス

運転状態、空調の要否によって適切なドライビングプロファイルを選択してください。

アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC”

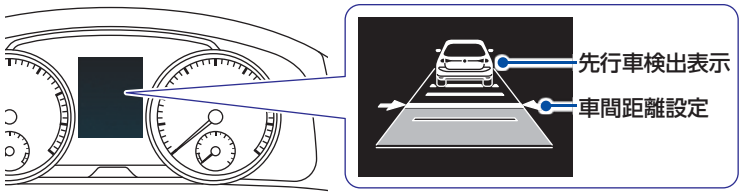
レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。

アダプティブクルーズコントロールシステムは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイに作動状態が表示されます。

先行車検出表示・・・・先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定・・・・・現在の車間距離設定を表示します。



アドバイス

車間距離設定は、矢印の位置が下（手前）にあるほど短く、上（奥）にあるほど長くなります。

操作手順

1. **ON/CANCEL/OFF ボタン を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。**

2. **設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。**

3. **車間距離設定ボタン を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。**

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の変えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
  + ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
  − ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の変えかた

車間距離設定ボタン を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

システムの停止のしかた

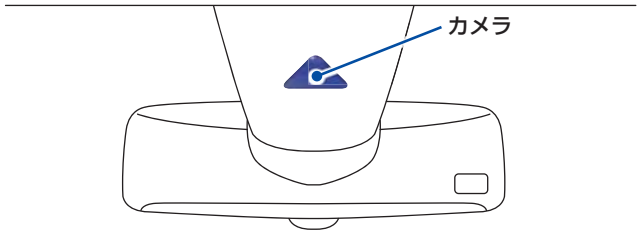
以下の方法で、システムを停止することができます。このとき、設定車速も消去されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン を長押しします。
- システムを一時的に OFF にしているときは、ON/CANCEL/OFF ボタン を短く押します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンキープアシストシステム“Lane Assist”

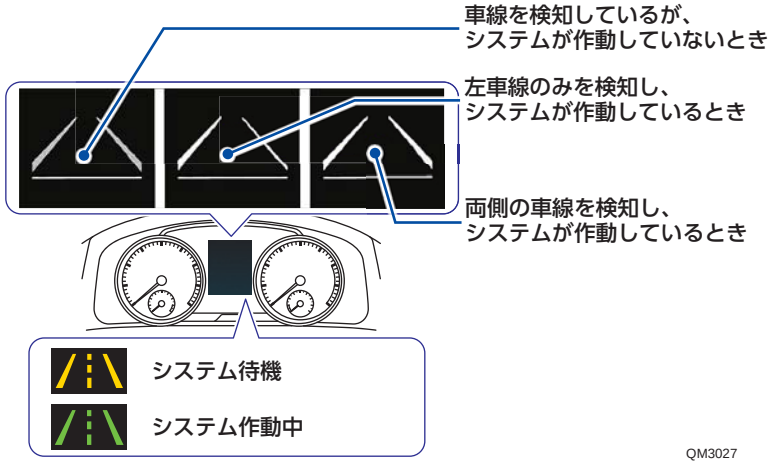
フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。



Q0034

コンビネーションメーターのディスプレイおよび表示灯でレーンキープアシストシステム“Lane Assist”の作動状態が表示されます。

線の色が薄い　　：車線を検知していないとき
線が細く色が濃い：車線を検知しているが、システムが作動していないとき
線が太く色が濃い：車線を検知し、システムが作動しているとき



QM3027

レーンキープアシスト“Lane Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の Lane Assist で「作動」のチェックボックス☑を外します。

コンビネーションメーターの表示灯が消灯し、レーンキープアシストシステム“Lane Assist”を OFF にすることができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”は、レーンキープアシスト“Lane Assist”とアダプティブクルーズコントロール“ACC”が連動した機能です。渋滞の最後尾など、停止している車両の後ろで停止するまで減速し、先行車の動きを検知して再発進します。

この機能は、以下の条件下において機能します。
- レーンキープアシスト“Lane Assist”がオンになっている
- アダプティブクルーズコントロール“ACC”が作動している
- 車両が左右の車線を検知している
- 車速が 60km/h 以下

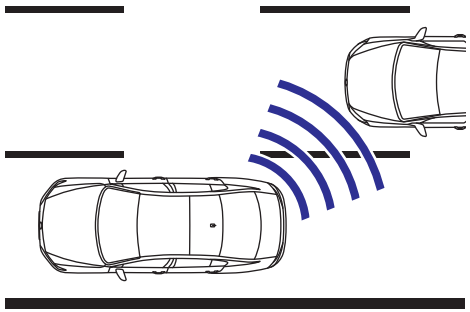
渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「アダプティブレーンガイド」のチェックボックス☑を外します。

レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus”

レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus”は、リヤバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内のインジケーターが点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させるとインジケーターが点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。また、車両が検知された車線側に進路変更しようとするとステアリングを自動で補正し、他車との接触を回避します。



QM3038

レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus”の機能停止のしかた

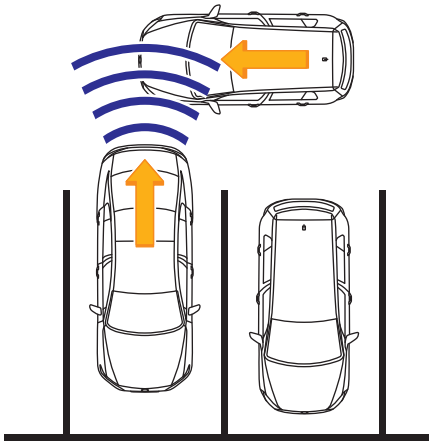
操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Side Assist”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）は、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



QM3039

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の機能停止のしかた

操作手順

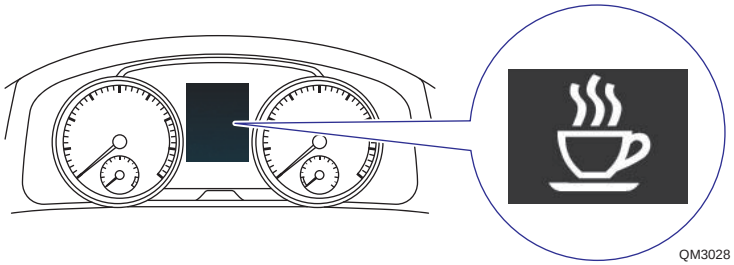
1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
3. 「Park Assist」の“リヤトラフィックアラート”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

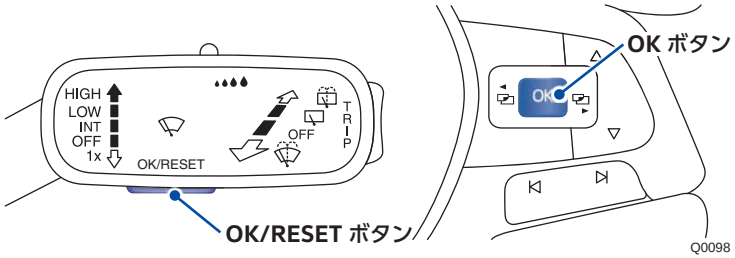
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。

運転パターンのモニタリングは、約 60km/h ～約 200km/h で走行中に行われます。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドーワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。





ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“疲労検知システム”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”を OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”（歩行者検知対応シティエマージェンシー機能付）

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。
レーダーセンサーとフロントカメラにより先行車をモニターし、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。
警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。

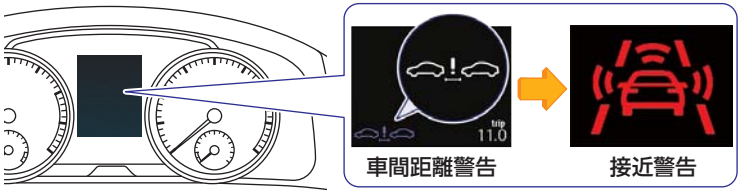
シティエマージェンシーブレーキ機能

45km/h 未満での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

歩行者検知システム※

65km/h 未満での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

衝突の危険性を検知し、システムが作動すると、コンビネーションメーターのディスプレイには下記の図が表示されます。



QM3029

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドーワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すとOFF にすることができます。

※：歩行者検知に対応しているかどうかは、グレードによって異なります。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Front Assist（プリクラッシュブレーキシステム）”で「作動」、「警告」、「車間警告の表示」をそれぞれ OFF にできます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS（アンチロックブレーキングシステム）
  ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS（ブレーキアシストシステム）
  ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR（トラクションコントロールシステム）
  発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- XDS（エレクトロニックディファレンシャルロックシステム）
  直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
  高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

ESC/ASR の機能の切り替え

インフォテイメントシステムによる切り替え

操作手順

1. **ディスプレイの「MENU」を選択します。**
2. **ディスプレイの「車両」を選択します。**
3. **ディスプレイの「設定」を選択します。**
4. **「ESC システム」で ESC および ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。**

プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

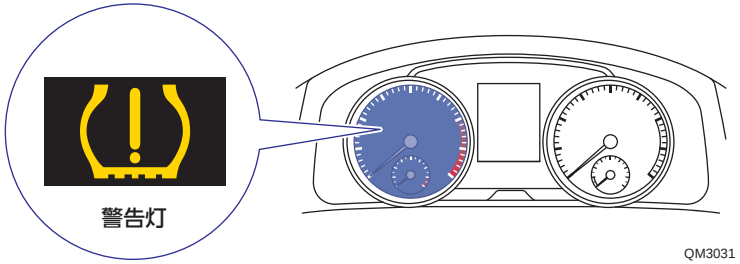
急制動や極端なオーバーステア / アンダーステアによって発生しうる事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めます。
同時にウインドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4 輪のタイヤ空気圧を点検してください。



タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

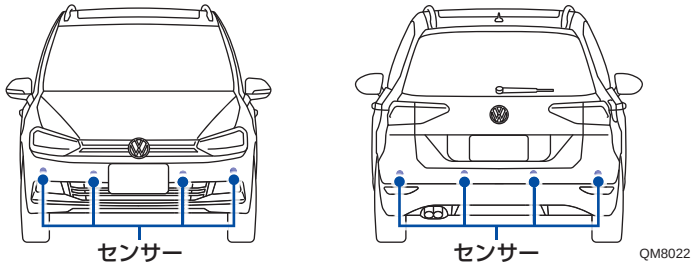
操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「タイヤ」の“タイヤ空気圧警告灯”で「SET」を押します。

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

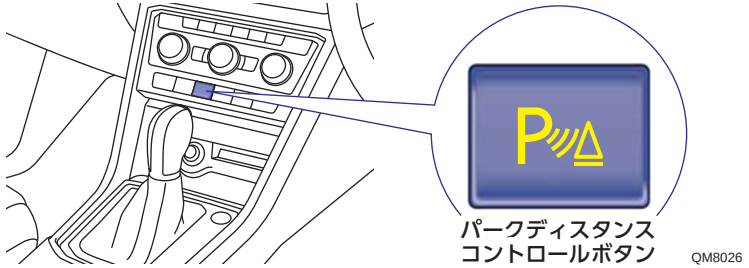
パークディスタンスコントロール

フロントバンパーおよびリヤバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。
前進時および後退時に障害物に近づいて衝突の恐れがある場合、自動的にブレーキを作動させ衝突を回避または衝突の被害を軽減させます。

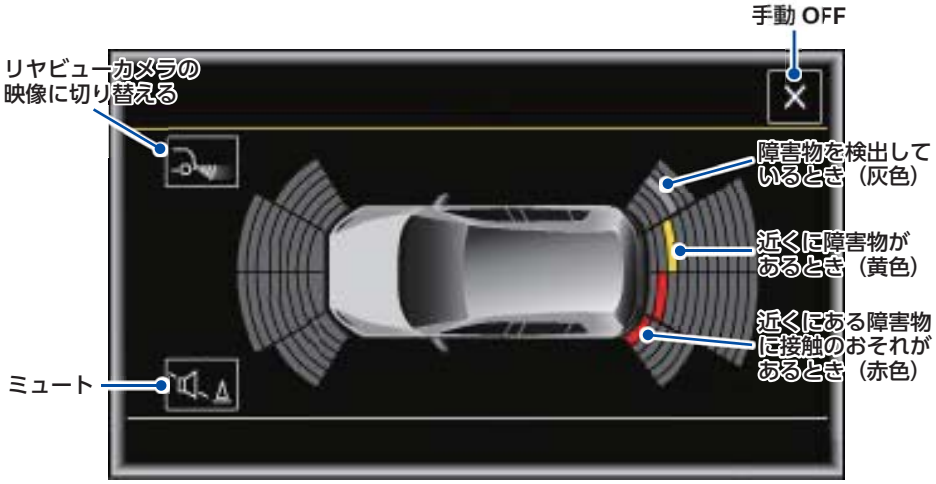


以下のときに作動します。
- セレクターレバーを“R”にしたとき
- 車両が後退したとき
- 車両前方にある障害物に、低速で接近しているとき

また、センターコンソール下部のボタンを押すと、手動で作動 / 非作動を切り替えることができます。



障害物に近づくとピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。
さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



QM8012

パークディスタンスコントロールの設定のしかた

操作手順

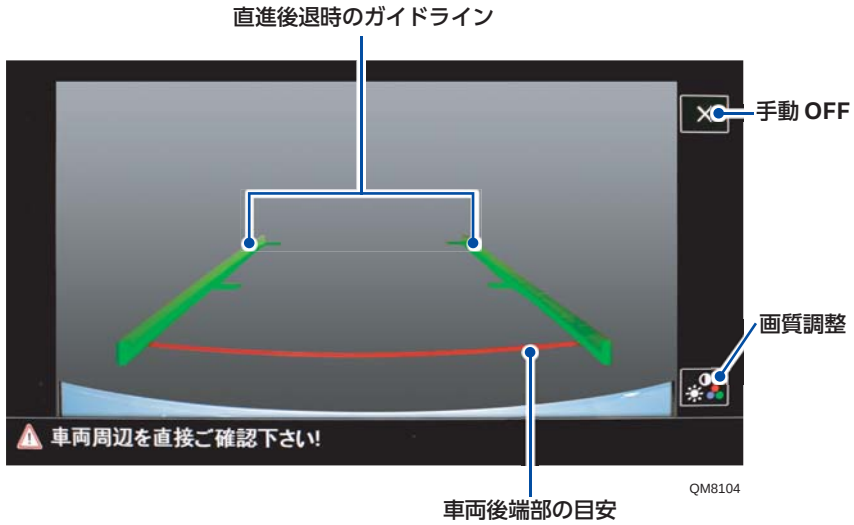
1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「Park Assist」の“パークディスタンスコントロール”で、パークディスタンスコントロールの自動 ON の設定や警告音の音量の調整などができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤビューカメラ“Rear Assist”

後退時、インフォテイメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。

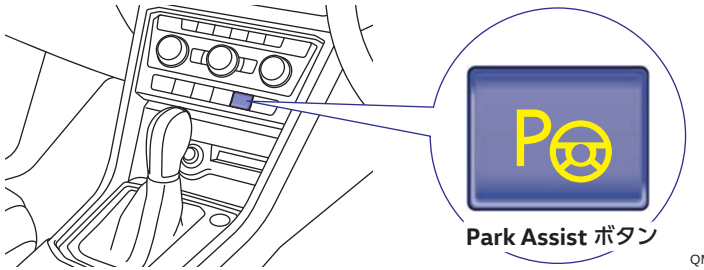
セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。
セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



QM8104

駐車支援システム“Park Assist”

駐車支援システム“Park Assist”は、縦列駐車、後退または前進して横列駐車をする際のステアリング操作を自動で行い、スムーズな駐車を補助します。
縦列駐車からの発進も、同様にシステムがステアリング操作を自動で行い、スムーズな発進を補助します。
運転者はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されるガイドに従って、前進、後退、ブレーキの操作をする必要があります。



QM8027

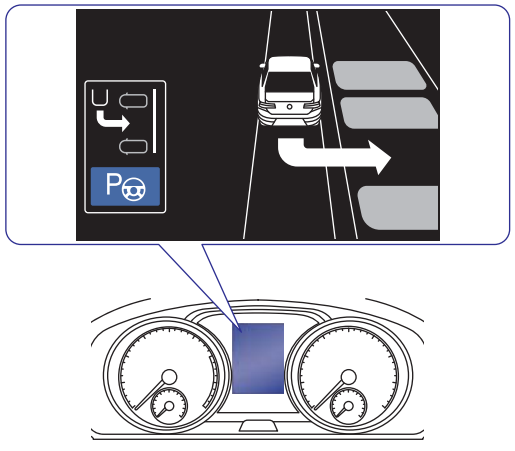
アドバイス

駐車支援システム“Park Assist”は、駐車スペースの駐車している車両を検知して駐車スペースを検知しています。車両が駐車していない駐車スペースでは本機能を使用することはできません。
誤った操作をすると、駐車支援システム“Park Assist”が終了ます。終了した場合は操作手順の最初からやり直しする必要があります。

駐車のしかた

操作手順

1. 希望する駐車スペースの少し手前で停車します。
2. Park Assist ボタンを押します。
3. 駐車スペースが検知されるまで、ゆっくり前進します。
車両が駐車スペースを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイに下記の図が表示されます。

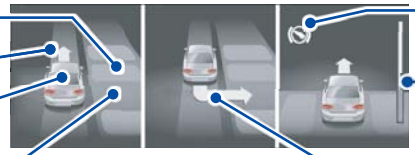


QM8023

4. Park Assist ボタンを押して、希望する駐車方法を選択します。

QM4048

5 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクターレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



6 駐車が完了すると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい !」と表示されます。

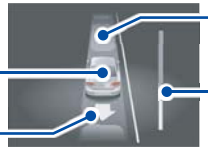
縦列駐車スペースからの発進のしかた

操作手順

1 Park Assist ボタンを押します。

2 発進する道路側に方向指示器を操作します。

3 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクターレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。
このときステアリングは自動で操作されます。



4 縦列駐車スペースから発進できる状態になると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい !」と表示されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。
本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan

本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発　　行：2019年9月
印　　刷：2019年9月
発行番号：201.5J2.TON.70